

# ボランティアセンターだより

平成22年度 No.1

## 車いす移送車 貸し出します



運転ボランティアによる移送サービス( )は、平成22年12月末で終了します。



運転者のいない人が、当センターで貸し出ししている福祉車両を利用する際に、その車を運転するボランティア活動

理由は、関係する法律の改正などで、続けることが難しくなったからです。

これからも、車いすに乗ったまま乗り降りできる福祉車両の貸し出しは、引き続き行います。どうぞ利用してください。

貸し出しの条件など詳しいことは、当センターまで問い合わせてください。

宗像市社会福祉協議会  
宗像市ボランティアセンター

〒811-3437

久原180番地 市民活動交流館(メイトム宗像)1階

TEL:0940(37)4100 FAX:0940(37)4101

URL:<http://www.city.munakata.fukuoka.jp/v-net/>



### ボラセン開所時間

月曜日～金および第1を除く土曜日の

8:30～17:00まで開所しています。

## ボランティア相談 受け付けています

ボランティア活動している中で、困っていることはありませんか！？  
朗読・点字点訳・子ども支援などに豊富な経験を持ったボランティア  
アドバイザーが相談に答えます。



## アドバイザー相談は

毎週水曜日 午後1時から午後4時の間、

ボランティアセンターにて実施中。

各回の担当者と内容は、センターホームページに掲載しています。

## 月1回は「やってみよう！ボランティア体験の日」

毎月1回、「相談日」に「やってみよう！ボランティア体験の日」を開催。  
(午後1時30分～午後3時の間)

この日は、ボランティア体験やボランティア活動をする際の心がまえなどを  
学ぶことができます。気軽に参加してください。



# ボランティアの保険とは



「ボランティア保険」は、日本国内におけるボランティア活動中におこる様々な事故に対する備えとして、無償で活動するボランティアを補償する保険です。ボランティアセンターでは「ボランティア活動保険」や「ボランティア行事用保険」などの受け付けています。

団体や活動内容によっては加入対象とならない場合があります。詳細は、問い合わせてください。



## 保険請求の注意



保険に加入して事故が起きた場合は、すみやかに加入手続きした社会福祉協議会(宗像市は宗像市ボランティアセンター)までお知らせください。事故発生の連絡が遅れた場合、保険金が減額される可能性があります。



## 活動紹介

### 施設利用者とボランティアとの交流

#### ～ 布の花 SHIBAZAKURA の会 ～

ボランティア活動には、施設利用者や地域の人との話し相手から、点字点訳・手話通訳や朗読など技術を習得して行う活動、得意分野を活かしたボランティアとして演芸披露、趣味活動の指導などがあります。

今回は、趣味活動の指導を行っているグループ「SHIBAZAKURA の会」の活動からボランティアを行うこと、また依頼することの意義を紹介します。

このグループは色を染めた布を加工してつくる「布の花」を学ぶ教室の指導者と受講者の有志から生まれたボランティアグループです。

会の代表・小長さんは「自分が得意とする布の花を通して人と関わることをしたい」「金銭的なものでは得られない満足が得られる」とボランティア活動をする理由を話します。

外出が難しい施設に入所している人たちは、外とのふれあいが少なく、生活が単調になりがちです。宗寿園グループホーム「愛々」では、11月までに6回の活動を行いました。始めは「難しそう」と消極的だった利用者も、徐々に自ら制作を楽しむようになっていくようです。現在は80代後半の9人が定期的に参加。そばで見ているだけの人もいますが、時間を共有して話しをするきっかけとなっています。

職員は「ボランティアに入ってもらうことで、社会とのつながりができる」「認知に障がいがあってもきれいなものや可愛いものには興味を持ちやすいようだ。制作を通じた（ボランティアとの）交流は、利用者だけでなく施設全体にゆったりした時間をもたらしてくれている」とボランティア受け入れの効果を挙げます。

今後の展望を尋ねると、「SHIBAZAKURA の会」も受け入れる施設も「（回数や規模を）大きくしようとせず、根付く活動をつづけたい」と言います。

この言葉にあらわれているように、ボランティアは「できる範囲で主体的に行うこと」が大切です。ボランティア提供者も依頼者も、気持ちよく活動が続けられるようにお互いが配慮していくことが欠かせません。

活動のチャンスはいろいろなところにあります。

自分にできることから、なにか始めてみませんか。



はじめての活動でつくったコサージュ

お知らせ

## おもちゃ図書館 開館しています

「障がいのある子どもたちに おもちゃの素晴らしさと

遊びの楽しさを伝えたい～リラックスできる遊びの場所をめざして～」

子どもは遊びを通じて多くのことを学びます。

しかし、障がいのある子どもたちはおもちゃに興味を示しづらく、上手に遊ぶことが難しいことがあります。

宗像市おもちゃ図書館では、手作りの布絵本や木製おもちゃを揃えて、障がいのある子どもたちに遊ぶ場所や機会を提供。家でも遊べるようにおもちゃの貸し出しもしています。

開館日 毎月第3木曜日 14:00～16:00  
第4土曜日 14:00～16:00  
12月の開館日 12/16(木)・12/25(土)

場 所 ゆうゆうぷらざ1階 交流室2  
(宗像市神湊118番地4)

対 象 障がい児・者とその家族、  
施設職員、教員など

貸出期間 1ヶ月



「おもちゃ図書館」はボランティア団体「宗像おもちゃライブラリー」によって運営されています。

おもちゃの整理や貸し出し作業など、まだまだ手が足りません。

お手伝いいただける人、興味のある人はぜひ見学に来てください。

# ボランティア活動しませんか

## 「森林都市うぐいす」

## グループメンバー募集!

宗像市の広報誌「タウンプレスむなかた」を読み上げ、それを録音し、目の不自由な人へ送付する「声の広報活動」をおこなっています。

主な活動場所：メイトム宗像(録音室)

目の不自由な人と接する機会は多くありませんが、自分の声を通して、ボランティア活動してみませんか。参加条件は以下の2つです。活動見学も受け付けます。

1ヶ月半に一度ある録音作業期間(4~5日程度)や定例会に参加できる人。  
60才位までの人(性別は不問)。

## 活動参加者募集!

### 岬地区コミュニティ

### 「子育てサロンのサポート・ボランティア」

子育てサロンは、さまざまなイベントを通して、親子の友だち作り、不安や悩みを話し合える交流の場を目指して、多くの地域で開催されています。

岬地区公民館では、毎月第1木曜日に開催。

子どもたちの見守りや、毎月行われる季節のイベントの手伝いをしませんか。

開催内容 平成23年2月3日(木) 9:15 ~ 12:00  
「節分祭と親子クッキング(簡単ケーキ作り)」

場 所 岬地区公民館 集会室

申込締切 平成23年1月31日(月)

申込・問合せは  
ボラセンまで